

# 第18回 福島眼科セミナー

(生涯教育認定事業 No. 25171 会場視聴：1単位/WEB視聴：0.5単位 申請中)

## プログラム

日 時：2024年10月26日(土) 18:00～20:00

開催形式：現地・WEB配信(ハイブリッド開催)

場 所：郡山ビューホテル本館5階 プリエール

福島県郡山市中町3-1 TEL 024-924-1111

参加費：A・B会員 3,000円 / C・非会員 1,000円

\*WEB参加の場合、次ページをご確認の上、ご参加登録および参加費のお振込みをお願い致します。

\*現地参加の場合は、事前の登録・振込は不要です。

【特別講演①】18:00～19:00 (Web中継)

座長：福島県立医科大学 眼科学講座教授 石龍鉄樹先生

『アレルギー性結膜疾患の研究・臨床Up to date 2024』

順天堂大学医学部附属浦安病院 眼科教授 海老原伸行先生

【特別講演②】19:00～20:00

座長：福島県立医科大学 眼科学講座准教授 向井亮先生

『多様化する加齢黄斑変性診療へのアプローチ』

福島県立医科大学 眼科学講座教授 石龍鉄樹先生

\*当日は会場にてお弁当をご用意しております。

共催：福島県眼科医会／参天製薬株式会社／バイエル薬品株式会社

## 【WEB ご参加時のお手続きのお願い】

下記の通り、事前のご参加登録、および参加費のお振込みをお願い致します。  
ご不明な点がございましたら、参天製薬(株)の担当者までお問合せ下さい。

## 【WEB でのご参加登録について】

下記 URL もしくは 2 次元コードから参加登録をお願い致します。また、URL をメール送付することも可能ですので、ご希望の際は弊社担当 MR にお申し付けください。

### 【事前登録 URL /2 次元コード】

当日は招待メール内の【ウェビナーに参加】より視聴ください。  
※ご視聴には Zoom を使用致します。

URL ; [https://santen-japan.zoom.us/webinar/register/WN\\_dMQzgBCySNOQNw4UUiUUQQ](https://santen-japan.zoom.us/webinar/register/WN_dMQzgBCySNOQNw4UUiUUQQ)



## 【WEB 参加費のお振込みについて】

10月18日(金)までに、参加費のお振込みをお願い致します。振込先、金額は下記の通りになります。

参加費のお振込み先：

金融機関 東邦銀行 福島医大病院支店(130)

口座番号：4000140

預金種別：普通預金

フクシマガンカセミナー シカノミチヒロ

お振込金額： A・B 会員 3,000 円 / C・非会員 1,000 円

(振込手数料は各自ご負担願います)

※ご欠席の場合でも返金是对応致しかねますのでご了承ください。

※頂戴しました会費は講演会の運営に当てさせていただきます。

参天製薬株式会社 福島営業所 末松 佑亮

電話：080-9947-5410

メール：yusuke.suematsu@santen.com

## 【ご注意いただきたいこと】

- 当日の15分前ごろから接続可能となります。
- 講演会当日、チャット欄等へ出席情報をご入力いただく必要はございません。
- 当日は参天製薬で視聴ログを取得させていただきます。予めご了承下さい。
- 本講演内容は国内の医療機関にお勤めの医師・薬剤師などの医療関係者を対象に、医療用医薬品を適正にご使用いただくための情報提供を目的としています。一般の方および国外の医療関係者に対する情報提供を目的としたものではありませんので、ご視聴に当たっては以下の事項についてご了承、ご遵守いただきますようお願いいたします。
- ご視聴は、ご登録をいただいたご本人様に限らせていただきます。  
ご視聴用アドレスを第三者と共有し、複数人でご視聴するなどの行為はご遠慮ください。
- 一般人の目に触れる可能性ある公共スペース（空港、駅等）でのご視聴はお控えください。
- 本講演内容の録画・録音および撮影等の行為は禁止とさせていただきます。
- 本講演内容の映像および音声は著作権法等で保護されており、その二次利用はお断りします。
- ご不明な点、内容に関するお問合せはご所属医療機関担当の弊社MRまたは末松(080-9947-5410)までご連絡ください。

## ◇抄 録

### 『アレルギー性結膜疾患の研究・臨床 Up to date 2024』

順天堂大学医学部附属浦安病院

眼科教授 海老原伸行先生

近年の疫学調査によると、国民の約45%が何らかのアレルギー性結膜疾患に罹患していることが明らかになった。花粉性結膜炎患者の増加には、黄砂、PM2.5などの大気中の粒子物質が関与している。また全身感作をみとめない結膜局所でのアレルギー反応である local allergic conjunctivitis の患者も増加している。環境物質と結膜局所のアレルギー反応の関連を、私たちの研究から明らかにする。アンケート調査によると、花粉性結膜炎患者の多くが抗アレルギー点眼液によって治療されているが、その満足度は低い。抗アレルギー点眼液・クリームなどの選択の仕方、使用法、副作用についてお話しする。免疫抑制薬点眼液の登場により重症春季カタルも眼圧上昇無しに単剤で治療できるようになった。しかし、タクロリムス点眼液に抵抗する症例もある。そのような難治症例の病態メカニズム、新しい抗体療法について紹介する。一方、最近アトピー性皮膚炎の治療に使用される IL-4/IL-13 を標的とした抗体製剤が結膜炎を惹起することが、臨床上問題になっている。その発症メカニズム、治療についても言及する。本講演で、若い先生方には研究の楽しさを知っていただき、また開業の先生方の明日からの診療にお役に立てば幸いである。

### 『多様化する加齢黄斑変性診療へのアプローチ』

福島県立医科大学

眼科学講座教授 石龍鉄樹先生

高齢化に伴い、加齢黄斑変性の患者数が増加しています。現在、治療の第一選択は抗 VEGF 療法であり、最近では使用可能な薬剤の種類も増えています。しかし、臨床試験の結果はどれも非劣性を示しており、日常臨床では薬剤の選択に悩むことも少なくありません。治療レジメンとしては Treat and Extend 法が一般的ですが、治療間隔や終了時期に関する明確な基準はありません。さらに、新たに公表された病型分類やパキコロイド疾患概念の登場により、病態の捉え方も変化しています。加齢黄斑変性診療は診断と治療の両面で一層多様化していると言えます。このような状況を踏まえ、診療においては柔軟な対応が求められています。特に高齢者を対象とする加齢黄斑変性では、通院や経済的な配慮も重要です。講演では、最新の研究報告を基に、最適な加齢黄斑変性診療へのアプローチを考察します。日常診療で直接治療に携わらない先生方にも、診療に役立てていただけるよう分かりやすく説明します。